

## 自然 「大根抜き」

日 時 2025年12月25日

3・4・5歳児

いつも遊びに行っているねこじゃらし公園の近くにある大根畑を管理している JA から電話があり、「子ども達、大根抜きに来ませんか」とのこと。畑で野菜収穫や果物収穫を子ども達ができたら、楽しいだろうな、と思っていました。近隣に畑があるので、野菜等の生育状況をお散歩のときに見ていた子ども達です。二つ返事で、大根抜きに行くことになりました。

昨日の雨から変わって本日は、朝から晴れ間が見られ、気温も10度近くまで上がりました。風が弱く、寒すぎず、土もぬかるんでいなく、畑に出かけるのには、ちょうどよい状態でした。

準備物 長靴、ビニール袋、乳児用避難車、

### 子どもの活動

当日は、長靴を履いて4・5歳の子どもが手をつなぎ、3歳児はクラスのお友達と手をつないで、畑まで歩いていきました。畑では、JAのおじさんが大根の抜き方を教えてくれました。子ども達は、5人くらいのグループに分かれて、大根畑へ。大根抜きは、ほとんどの子どもが初めての体験でした。

グループに分かれた子ども達は、初めにどの大根を抜くか決めて、まずは、大根の根の部分をもってぐらぐら動かしました。それから、上に力いっぱいひっぱってぐっと抜きました。畑に入ると、昨日の雨で大根の葉っぱが濡れていました。大根が思いのほか、長く太く大きかったので、抜いた大根を持つと葉っぱに隠れて子どもの姿が見えなくなるほどでした。中には、二股に分かれた大根や、ハクビシン？ネズミ？が食べた跡のある大根もありました。

帰りは、乳児用避難車に大根を乗せて、子ども達は、行きと同じペアで歩いて帰りました。

### 子どもの様子

畑に入った子ども達は、大根の葉についているテントウムシやカメムシ、地面にいた蜘蛛を見つけたり、虫探しを楽しむ姿もありました。大きな大根が抜けると、嬉しそうにする子ども達の姿がありました。

しっかり根を張った大根は、ぐらぐら動かすのに力が必要で、「先生、一緒にやろう。」という声が上がりました。大人が手を貸して、ぐらぐらになってから、引っこ抜くと大きな大根が抜けました。「やったー！抜けた」どの子どもも、自分で抜いた重たい大根を大切に運んでいました。スーパーで見る大根は、葉付ではないことが多いので、大根の本来の大きさを知り、大根葉の大きさやごわごわした感触を感じられたと思います。大根抜きの要領をつかむと、抜くことが楽しくなったようで、2畝あった100本近い大根をすべて抜くことができました。

### 活動の振り返り

今月のテーマは、「植物」ということで、どの野菜が土のなかにあり、どの野菜が土の上にある、この植物の花はどれで、この植物の実はどれということ等を学んでいました。大根抜きは、丁度よい学びの場でした。子ども達のなじみの食材である大根。お家に帰って、どんな料理になるのでしょうか。自分で抜いた大根は、買って来た大根とは思入れが違うのか、「サラダにして食べた」「おでんにした」また、保護者の方から「普段は好きでなく、食べない大根ですが、自分が抜いた大根だとよく食べました。」と次の日にたくさんの報告がありました。今回、初めて大きな畑で野菜の収穫をしました。自然に触れ、収穫をして、子ども達にとってとても楽しい体験でした。

子ども達も職員も、土で洋服がどろどろになりました。今日、頑張って大根抜きをした証です。



